

馬田 隆明 (東京大学 FoundX ディレクター)

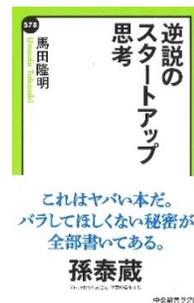


日本マイクロソフトを経て、2016年から東京大学。東京大学では本郷テックガレージの立ち上げと運営を行い、2019年からFoundXディレクターとしてスタートアップの支援とアントレプレナーシップ教育に従事する。スライド、ブログなどでスタートアップに関する情報提供を行っている。

サイト: <https://takaumada.com/>



スタートアップについてのスライド
[Slideshare](#)
[SpeakerDeck](#)



スタートアップの方法論の基礎
[Amazon](#)
(2017年3月)



起業環境の重要性とアクセラレーターの設計方法
[Amazon](#)
(2019年4月)



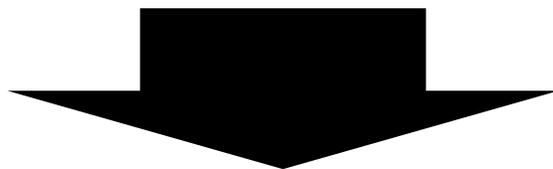
スタートアップの公共や規制との付き合い方
[Amazon](#)
(2021年1月)



曖昧な思考を明晰にする方法
[Amazon](#)
(2022年11月)

590 億 t/年

590 億 t/年



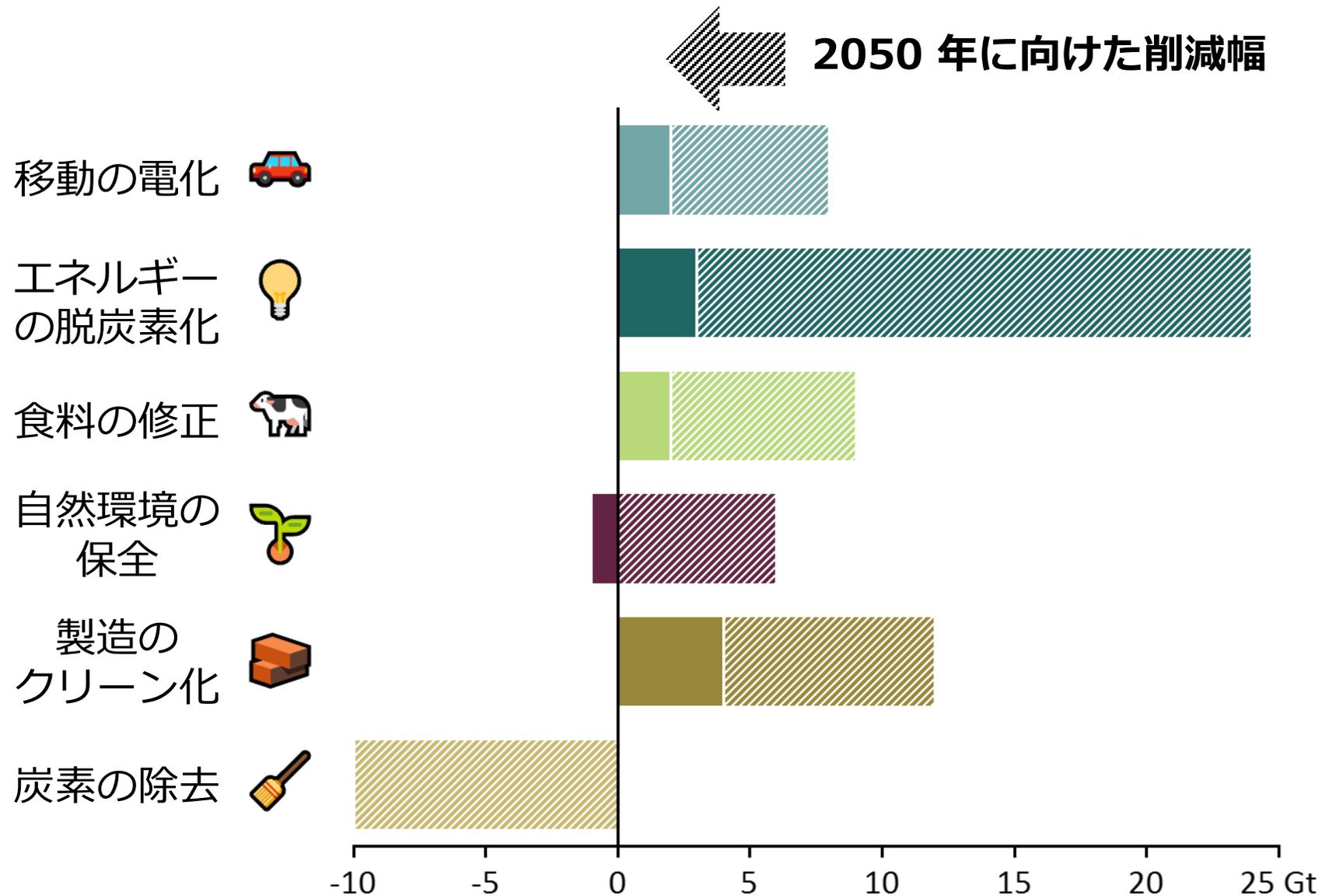
0

5900 億 t/年

約 30 年で

0

590 億トンから “ネットゼロ” に向けて必要なこと



Climate Tech の主な 3 分類



理解

緩和・適応策を講ずるための現状把握

例)

- 気候リスク分析
- GHG の管理会計
- メタン排出測定
- 消費者向けカーボンラベリング



緩和

各領域でのGHG排出量の減少や炭素回収

例)

- 生産
- デリバリー
- 消費
- 促進



適応

気候変動による諸課題への事後的な対処

例)

- 災害対策
- 保険

Climate Tech の主な 3 分類



理解

緩和・適応策を講ずるための現状把握

例)

- 気候リスク分析
- GHG の管理会計
- メタン排出測定
- 消費者向けカーボンラベリング



緩和

各領域でのGHG排出量の減少や炭素回収

例)

- 生産
- デリバリー
- 消費
- 促進



適応

気候変動による諸課題への事後的な対処

例)

- 災害対策
- 保険